

「近々巨大地震が来るかもしれない」気象庁の発表に対応するために— 「南海トラフ地震に関連する情報」への対応について—

齋藤ひろむ

昔から九州から東海にかけての地域には、南海、東南海、東海地震とよばれる巨大地震が定期的に襲ってきました。今はそれらの巨大地震が「南海トラフ」という太平洋の海溝の奥のプレートに由来するものとして「南海トラフ地震」と呼ばれています。

様々な研究によって、それらの地震の「予知」は難しいとされています。「突然やってくる地震」として、わたしたちには備えが求められています。

一方で、歴史的にみるとこの地震は、西側の半分、東側の半分が、別のタイミングで起こったという事例もあります(1944年昭和東南海地震と1946年昭和東海地震など)。そのため、気象庁は地震の兆候や、一部地域での地震があった際に「南海トラフ地震に関連する情報」を発表して警戒を呼び掛けることを決めています。



市も「指針」を策定中

豊橋市もこれに対応するために「豊橋市南海トラフ地震臨時情報に係る防災対応指針」(案)(以下「指針」(案))を策定中です。「指針」(案)によると、もしも「巨大地震が起こる可能性がある」となった場合、前芝、津田、吉田方、牟呂、磯辺、汐田、大崎、杉山、小沢など一部の地域が「事前避難」が呼びかけられ、学校も一週間休校となるなど市民生活に大きな影響が及びます。

11月1日より、パブリックコメントが始まりますので、ぜひ、市役所のHPや情報ひろばで「指針」(案)をご覧ください、どのような対応が必要となるかを確認下さい。党市議団としては、避難対象の市民への情報の提供や、市としてもっと手厚い支援が必要ではないかと考えています。ぜひ皆様のご意見もお寄せください。

二つの署名にご協力ください

日本共産党東三地区委員会・豊橋市議団では今、12月議会に向けて、

＊「小中学校の給食費の無償化を求める署名」

＊「少人数学級の実施を求める請願署名」

に取り組んでいます。

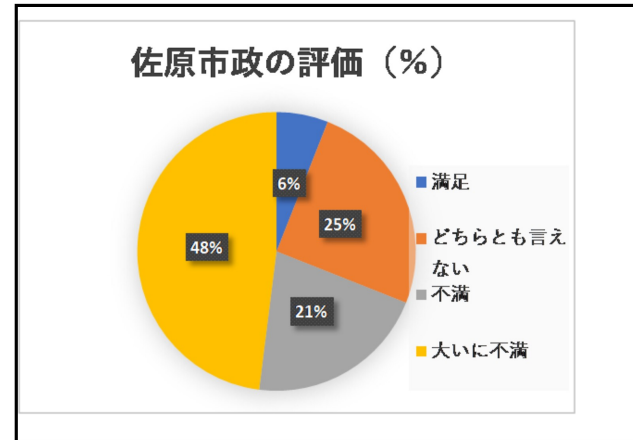
コロナ過のもと、義務教育である小中学校において、給食費の無償化により、子育て家庭の負担を減らすことや、1人ひとりの子どもたちに目の行き届く教育の実現のため、みなさんのご協力をお願いいたします。



市政アンケートにご協力ありがとうございます。

市議団で実施している「コロナ・市政アンケート」の回答の中間報告です。今後も、市民の皆さんの声を市政に反映させていきたいと思っています。引き続きご協力をお願いいたします。(中西光江)

◆ 佐原市政の評価について



◆ 豊橋市への要望 (上位5位)

- 1位 介護保険料や利用料の軽減
- 2位 払える国保に・年金の充実
- 3位 下水道等公共料金の値下げ
- 4位 地球温暖化対策
- 5位 豪雨・地震などの災害対策

◆ 市政アンケートの声から

コロナに関して

- ・観光土産品卸のため、売り上げが激減(70代)
- ・昇給の見送り、賞与の大幅な減額
- ・子どもたちの授業も活動も制限があり。きちんと学べているか心配(30代)
- ・PCR検査を早めにもっと積極的にしてほしい(40代)
- ・感染者が収容できる施設を確保してほしい(60代)

市政要望について

- ・車がないと生きていけないなんて、不便な街の改善を
- ・こんな時代なのだから、水道料や電気代の値下げなど考えてほしい(40代)
- ・補聴器・眼鏡・杖など補助をしてもらえたら嬉しい
- ・自転車で安心して走れない
- ・交通・入場料の援助の廃止で、老人の楽しみ等をどんどん減らす市長は早くやめてほしい(70代)
- ・ユニチカ問題についてわかりやすい情宣をお願いしたい(50代)